



ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 2760

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

1992〜'93年度、国際ロータリーのテーマ



まことの幸福は人助けから
Real Happiness is Helping Others



光ヶ丘女子高等学校インターアクトクラブ設立総会記念

R.I.会長／クリフォード L.ダクターマン R.I.理事／松本卓臣

ガバナー月信 1993.2

FEBRUARY No.9

国際ロータリー第2760地区

1992〜'93ガバナー **神 戸 政 治**

事務所 〒460 名古屋市中区栄五丁目24番33号 フルエング株内
TEL (052) 241-0230 FAX (052) 241-0275

ガバナーメッセージ



ガバナー 神戸 政治

世界理解月間のために

世界理解月間（World Understanding Month）はロータリーの数多い特別月間のなかの一つで、毎年2月に実施されています。

世界平和に不可欠な理解と親善を特に強調するプログラムと、その活動を実施すること。即ち、世界社会奉仕（W.C.S.）を中心としたプログラムを行なうよう要請されています。

1988年1月から毎年1月はロータリー理解推進月間（The Rotary Awareness Month）で、ロータリアンにロータリーについて一層知識と理解を深めると同時に、一般市民にもロータリーについて良く知ってもらうためのプログラムを実施する月間であります。

また、4月はロータリーの雑誌月間で皆様も良くご承知のことと存じます。

さて、2月の世界理解プログラム、W.C.S.についてお願いを申し上げます。

当地区は歴代国際奉仕委員長、W.C.S.委員長のご努力により、日本でも有数のプログラムを有する立派な地区であることは誠に誇るべきことであり、ガバナーとして先輩各位に厚く感謝申し上げます。

本年度は昨年までとは少々異なった奉仕活動の形をとっている訳ですが、本質的には何も変わっていません。

従来の実績に基づき、各クラブが先方クラブと更に密接な連絡をとり奉仕活動の万全を期すると同時に、地区は地区として何かまとまった奉仕ができないだろうかと研究し、フィリッピンに奨学基金の財団を設立できないかと現在検討中であります。

W.C.S.のプログラムは大変にたくさんございますので、各クラブとしてもどうか意義深い効果のあるプログラムをそれぞれに選定していただきたいと思います。

オークリッジ日米親善会議について

松本 R.I. 理事より出席依頼がまいりました「日米ロータリアン親善会議」は、1993年6月11日～12日 米国テネシー州において開催される予定です。

この会議は国際ロータリー承認済みのもので、下記のようにダクターマン R.I. 会長も期待しておられ、日本代表は、R.I. 元理事伊藤義郎氏に既に決定しております。

日本の各地区から多数のロータリアンが出席されるよう要請されています。

オークリッジ日米親善会議について

R.I. 理事 松本 卓臣

R.I. 元理事 伊藤 義郎
(日本側代表)

国際ロータリーでは日米両国の友好と理解を促進するため1993年6月11日～12日、テネシー州の歴史的な街オークリッジにおいて親善会議を開催することになりました。この行事は同市の開基50周年記念事業の1つであります。

同会議はロータリー財団とオークリッジロータリークラブとの共催で行なわれ、オークリッジ朝食ロータリークラブと第6780地区の協賛のもとに開催します。

会議のタイトルは「ロータリー活動を通じて日米両国のより一層の親善と理解を深める」であります。超大国の軍備(拡張)競争に代って、世界は経済・その他の形で競合をするようになり、今回の会議では、そのような世界において日米両国の相互理解と友好を求めていくためのロータリアンの役割を検討する会議であります。

R 財団ピースプログラムより同会議へ \$24,450 の財政援助が与えられました。

出席が予想されるのは、日米ロータリアン、日米両国の特別ゲスト、また、その他の国々からもロータリアンとゲストをお迎えする予定です。

同会議の共同司会者ジョータイトル氏は「オークリッジという街はこの日米ロータリー親善会議を開催するには大変に適した場所です。」と語っています。「同市は第2次世界大戦を終了させる一助となった、原子力の世界初の研究所を設置するために作られた特別の都市であり、今では世界的にも有名なテクノロジーセンターになっています。それらに加えて善意の精神や本当の意味での両国間の理解を求めようとしている街でもあります。」

オークリッジ市の50周年記念行事のテーマは「戦争によって生まれ、平和を求めて生き、科学を通じて成長する」であります。

アメリカからの参加ロータリアンは東部・南部地域の方が多いかと思いますが、日本からは各地区から5～10名位は参加していただきたく思います。プログラム案にありますように、日米のロータリアンがこの様に話し合うことは今までに無く、本会議はホームステイを含めて、大変に意義のある事と考えます。会議は同時通訳で行なわれますので英語の心配はありません。5月23～26日にはオーストラリアのメルボルンで国際大会があり、これにも出席していただきたいと思いますが、オークリッジの日米親善会議にも日本から多くのロータリアンとそのご家族の参加をご期待致します。

オークリッジへの旅行については、もちろん、各ロータリアン個人のご旅行も自由ですがジャパニアメニティートラベルでツアーも計画致しますので後日ご案内を致します。

ガバナーメッセージ

中国ポリオ根絶計画について

下記のように厚生省より協力要請が日本のロータリー各地区へまいりました。
ポリオプラスプログラムとは異質のものでありますが、検討の要ありと思
いましたので皆様のご意見を至急ガバナー事務所へお知らせください。

国際ロータリーアジア第1・第3ゾーンガバナー各位

ガバナー会議長 松島 寛容

謹啓 向寒の折愈々ご健祥ご活躍の段何より慶祝至極と存じあげます。

厚生省より中国のワクチン支援の件

掲題につき12月4日ガバナー会において、ポリオプラス・タスクフォース・コー
ディネーター平岡正己 P.D.G.より説明があり、厚生省保健医療局結核感染対策室
長より来信にて既にご高承の事と存じます。

本件につき12月18日、D-2750櫻井地区幹事立会いのもと（小倉ガバナー、グワ
ム・サイパン公式訪問中）厚生省国際課々長代理土井弘幸氏の来訪を受け、更に同
日保健医療局長谷修一氏と面談を致し強力なご要請を受けております。

会談を通じ痛感致しますのは、所謂ロータリーの提唱するポリオプラス・プログ
ラムとは異質のものであり、WHOのプログラムにロータリーも参画をして、既に
ワクチン工場建設へ1,500万\$を、亦、ワクチン代として100万\$を支出しており、
それでも尚2億円のワクチン代不足に対して、WHOは日本に対して支援要請が行
われ、厚生・外務両省は協議の上、日本のロータリーに絞り込んで特にその支援方
要請を致されたものであります。

最近の不況下、他の団体の協賛は得られなかったと仄聞いたしております。

この実現の成否は国際輿論の上に於て重大なる意義を有するものである事、国益
上ぜひとも成功せしめねばならない事を力説されました。

第二次大戦終了時、中国の蒋介石総統は：

- (イ) 日本に賠償は求めない、求めれば日本は忽ち赤化する。
- (ロ) 日本の軍隊・民間人220万人を1年以内に無事帰国せしめる。
- (ハ) 九州分割統治の為軍隊の派遣を要請されたがソ連の北海道浸出を懸念して
軍隊の派遣を中止した。
- (ニ) マッカーサーが日本を共和国にする案に対して、如何に戦勝国と雖も不適
切として反対した。

総統の鴻恩は日本人として忘却してはならない事であります。

中国の政治体型は明らかに変わりました。しかし中国国民は連綿として不変であ
ります。

日本のロータリアン125,000名が一人当たり2,000円を拠出すれば、この要請は見事
達成できるものでございます。

年度半ばにして各ガバナーの苦心せられる所であります。説明不足のためご納得
が得られないとのご意見も承知致しております。

国も次年度よりは予算化されます。ワクチンの投与は中断する事により撲滅は不
可能になります。ワクチンの性質上、寒いこの冬場において完了致さざるを得ない
点もご堪考いただきたいと存じます。

資金が集まる見通しさえつけば厚生省も対処できるでしょう。

何卒格別なるご考察とご高配を賜り度く切にお願い申しあげます。

敬白

追伸：本件につき賛否を是非ご一報ください。

R.I.D-2760

ガバナー 神戸 政治 様

中国ポリオ根絶計画の支援について

厚生省保健医療局結核・感染症対策室長 尾 寄 新平

拝啓、世界ポリオ根絶計画に対するご支援につきましては、常日頃よりご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

去る10月に北京において開かれました「WHO 西太平洋地域ポリオ根絶専門家会議」におきまして、中国山東省における日本の技術協力が高く評価され、1995年までにポリオを根絶するという目標が現実的なものとなってまいりました。しかしながら、会議においては平成4年度冬期における大規模投与のためのワクチン不足(約2億円)が深刻な問題として提起されたところであります。

中国におけるポリオ根絶は「世界ポリオ根絶計画」を大きく進展させるものとして国際的にも日本の役割が期待されているところであり、日本政府といたしましては中・長期的な展望に立ち厚生省、外務省がWHO並びにJICA(国際協力事業団)を通じて資金・機材・技術協力を進めているところであります。

会議において提起されました中国への緊急援助問題につきましても、外務省とも協議し鋭意検討を重ねているところでございますが、貴奉仕団体からのご支援を賜りたく、ここにお願い申しあげる次第であります。

敬具

平成4年12月21日

国際ロータリー理事会決定事項の抄録より

国際ロータリー理事会の1992～'93年度第2回定期理事会は、1992年10月30日から11月4日にかけて、米国イリノイ州エバンストンの国際本部において行われました。この会合で、理事会は8つの委員会からの報告を検討し、65項目の決定を行いました。

下記はその中のロータリー全般に関するものの要約です。

管理、運営

- リチャード・ケンドル副会長の急逝に伴い、英国エセックス、イルフォード・ロータリークラブ会員であるロイ J.A.ウィットビー理事が、ダクターマン会長によって国際ロータリーの新副会長に選ばれました。

また、メダ K.パンズランガ・セティ理事が理事会執行委員会の委員長に任命されました。

ガバナーメッセージ

- 理事会は、ロータリー国際理解賞の受賞者により選択された奉仕プロジェクトが財団の慈善的目的に叶っていることを理事会が確かめることを条件として、同受賞者へ米貨10万ドルを授与するという管理委員会の提案に同意いたしました。
- 1993年度のロータリー国際理解賞受賞者が選出されました。ダクターマン会長が適切な時期に受賞者の発表を行います。
- 理事会は、1905年2月23日にロータリーの最初の例会が行われた第711号室を模写した記念室をワン・ロータリー・センターの16階に再建することを決議いたしました。

会員増強と拡大

- 理事会は、旧ソビエト連邦の新独立諸国へロータリーを拡大する活動の成果と今後の方針を再検討し、これらの国内のクラブに対する一連の情報セミナーを考案し、その指導監督の機構を再編成することを決議いたしました。
- 各地区大会はその地区の全ロータリアンのために開催されるものであり、地区大会へは出来得る限り多数のロータリアンが出席すべきことを考慮して、理事会は地区大会がその地区内または隣接または近隣の地区にて開催されるべきことを決議いたしました。
- 1993年から1996年度にかけて新しい地区組織を実験する12の地区が選出されました。
- 理事会は、チューリッヒの欧州／アフリカ担当支局が北欧諸国内のクラブおよびロータリアンに対する奉仕業務を完全に行うことができるようになることを期して、北欧支局はその業務を1993年6月30日まで継続することを決議しました。

プログラム

- 理事会は、全クラブ、全地区が10月16日の国連提唱の世界食糧の日を記念して、各地域の関連機関と提携し緊急な救援を要す飢餓緩和プロジェクトを支援する食糧供給の活動を実施するように奨励しています。

- 薬物およびアルコールの濫用は世界中の地域社会に広まっている問題であることを認知し、理事会は10年間の薬物およびアルコール濫用防止計画を採択いたしました。
- 識字率向上を R.I. の強調事項として西暦2000年まで継続させることになりました。
- 財団管理委員会は、ポリオ・プラスプログラムの当初の目的は達成されたことを認定し、「今後のポリオ・プラス政策、1992年から2005年までの基本方針」を採択しました。理事会はその方針を確認いたしました。

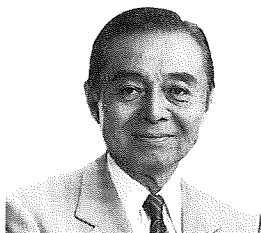
コミュニケーション

- 地区ガバナーならびにロータリー・クラブを含む国際ロータリーおよびその役員は、国際協議会、国際大会、ゾーン研究会、地区大会、PETS、およびクラブ例会などを含む、あらゆる機会を活用してポリオ・プラスの業績を周知させ、今後の挑戦を啓蒙することが奨励されています。
- 理事会は、ニューヨーク、ジュネーブ、ウィーン、バリーなどに本部を置く国連機関への代表を追加任命し、国連およびその専門機関、民間支援団体のインフォメーションおよび活動を監視、調整して、それらの代表を支援する事務局の業務を充実させ、国連との提携関係を強化させる決議を採択しました。

財務

- 理事会は、地域／ゾーン研究会の予算、運営、報告、会計監査など、これまでの R.I. 財務方針に含まれていなかったものを含めて、全ロータリー活動に関する財務方針と手続要項を制定することを決議いたしました。
- 理事会は、1991～'92会計年度の R.I. の全口座に関する会計監査報告を受理、承認いたしました。

世界理解月間



地区国際奉仕委員会 委員長 小嶋 洋一

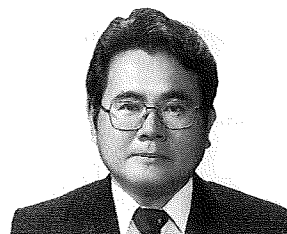
ロータリーでは、2月を世界理解月間、また2月23日をロータリー創立記念日であると共に、世界理解と平和の日と定めています。

手続要覧によれば、クラブは、世界平和に不可欠なものとして、理解と親善を特に強調するクラブ・プログラムと活動を実施し、世界社会奉仕を中心としたプログラムを行うよう要請されています。

ロータリアンは、こうした特別月間に思いを新たにして、お互いに奉仕の理想を生きた力に結集することに、今一度考えてみる必要があるのではないのでしょうか。2760地区では、今年度もWCS視察旅行を計画し、丁度この2月の世界理解月間中に、フィリピンを訪問する予定ですが、一人でも多くのメンバーの参加が望まれます。従来の各クラブ単位のWCS活動に加えて、今年度は地区としての独自の活動も計画されているようですので、WCS活動を直接、目で確かめ、肌で触れることができるまたとない機会と考えられます。一昨年、WCS活動でタイを訪問しました時、たまたま、2月23日の「世界理解と平和の日」でしたが、我々訪問団を招いているばかりでなく、フィリピンからタイへの留学生も招かれていたりして、誠に国際色豊かな例会であり、「世界理解と平和の日」に相応しいプログラムであったことを記憶しています。夫々の

クラブが趣向をこらし、世界理解月間に相応しいプログラムを実行していただきたいと思っています。青少年交換留学生や、財団奨学生を例会に招いたりするのも一つの方法でしょうし、海外の姉妹クラブとの友好を再確認するにも適当な月間であろうと思われます。「まことの幸福は人助けから」のR.I.会長のターゲットを、国際的規模で実行してみてください。

2月がロータリアンである幸福を実感する月になることを、心から期待して止みません。



地区国際友好(小)委員会 委員長 伊藤 公正

21世紀を目の前にして、旧ソ連邦の崩壊が象徴するように世界の構図が大きく変貌しており、それにともなう混乱。一方ではソマリアに代表されるような食料の飢饉。難民問題等々解決されなくてはならない諸問題が、地球規模で起きております。

そうした中で、我々ロータリアンは、国際社会の一員として、なにができるか、なにをしなくてはならないか、真剣に考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

今月は世界理解月間であります。国際社会の一員として、世界平和、人類の平和に対する貢献をロータリークラブは「国際奉仕」と定義付けております。

国際奉仕には、数多くのプロジェクトが組まれています。その中の一つに海外ロータリークラブとの交流・提携により、ロータリ

アン同志の人間的な繋がりを作り、世界平和に貢献しようというところみがなされています。素晴らしいプロジェクトであります。

現在2760地区内の海外クラブとの交流提携は次のようになっています。

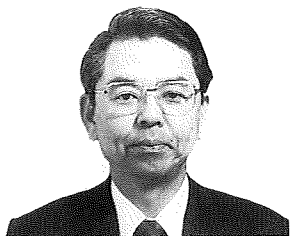
海外クラブとの提携 海外40クラブ

海外クラブとの交流 海外6クラブ

2760地区72クラブの内、実に海外46クラブとなんらかの交流・提携がなされています。

また国別においては、台湾17、アメリカ10、オーストラリア5、韓国4クラブとなっております。(1992年2月調査資料より)

交流提携がいまだ実施されていないクラブにつきましても、ぜひクラブ創立記念事業等の機会に取り組みを検討していただき、より多くの国際交流が生まれ、ひいては国際理解、国際平和に貢献されることを切に希望します。



地区世界社会奉仕(小)委員会 委員長 片山 主水 ロータリーの究極の目的「世界平和」

ロータリーの究極の目的が最終的にどこにあるか議論の余地のあるところであるが、現在のところ、ロータリー綱領によれば、「国際平和」の実現の推進にあることはほぼ異論のないところである。

その綱領に掲げられている、知己の拡大、職業の道徳的水準・品位の向上、親睦、奉仕の理想の適用等々は、国際平和の実現を推進するための段階的な手段・方法に過ぎないと

いうことである。

国際理解と国際親善による「国際平和」

国際平和を達成する手段・方法はいくらかある訳であるが、ロータリーは、そのうち、国際理解と国際親善という方法・手段により達成する道を選択しているのである。

しかもその国際理解・国際親善は、事業と専門職務に携わり奉仕の理想に結ばれた人すなわちロータリアンその人自身による世界的親交により構成される国際理解・国際親善でなければならないとしている。

人任せにせずロータリアン自身による「世界的親交」というのが実は大切なところである。

「国際理解」から「世界理解」へ

この国際理解と世界理解月間にいう「世界理解」とは、大同小異で気にしない度量の広い人には敬意を表して、さて両者はどのような点が異なるのであろうか。

「国際理解」は、国家・国民を前提としたうえで、相手方との相互理解により「国際平和」に到達しようとするのに対し、「世界理解」は「国際理解」を一步進めて、一応国家国民を捨象して、ロータリーの奉仕の理想の無報酬的な理念に照らして多少とも低次元かと思われる相互理解というギブアンドテイクの段階から、一方的かつ全方位理解という一段と高い次元へ昇華した理解で「世界平和」に達するものであると言い得るであろうか。

相手方を理解することを押しつけられるばかりで、こちらを理解させることの不得手な日本人であるが、月間中暫くは日本人をはなれて、「国際平和」から「世界平和」へ視点を代えて思いを馳せてみたいものである。

地区ニュース・その他



米山記念奨学会年末見学会・懇親会

地区米山記念奨学会委員会

委員長 米田 春雄

日 時 1992年12月11日(金) 15:00～

場 所 中日新聞社本社

懇親会 メルパルク 17:00～

1992年度 D-2760 米山奨学生名簿

CY = クラブ米山

	No.	氏 名	国	大 学	世話クラブ	カウンセラー	指導教官
新 奨 学 生	1	俞成根 ユ ソン クン	韓 国	名大(金属)博2	名古屋-東南	宮 崎 薫	宮 田 教 授
	2	バルビン・マホブバ	バングラディシュ	名大(医)博3	豊山-城北	成 田 昭 雄	友 田 教 授
	3	晝述燮 チョ スル ソップ	韓 国	名大(文)博3	名古屋-守山	山 田 静 夫	今 鷹 教 授
	4	安靜葉 アン ジョン ヨブ	韓 国	名大(農)博2	名古屋-名南	野 村 秋 博	中 村 教 授
	5	郭環瑤 コオ チュオン イァウ	台 湾	名大(文)博2	一宮-中央	森 栄	立 川 教 授
	6	蔡秀卿 サイ シュウ ケイ	台 湾	名大(法)博2	岩 倉	枝 田 唯 己	室 井 教 授
	7	李明勲 イ ミョン フン	韓 国	名大(金属)博2	あ ま	加 藤 文 義	沖 教 授
	8	李相晔 イ サン ヨブ	韓 国	名大(建築)博3	名古屋-和合	国 枝 寅 雄	松 井 教 授
	9	ジョー・リアン・ミン	インドネシア	豊技大(情報)修1	田原パシフィック	内 柴 義 郎	奥 山 教 授
	10	ボンボー・ベッチ	タ イ	豊技大(建築)修1	豊 橋 - 南	水 鳥 正 一	加 藤 教 授
	11	裴東樹 ベ ドウン スウ	韓 国	名大(金属)博2	名古屋-名駅	隅 田 耕 市	宮 原 助 教 授
	12	金根鐸 キム クン タク	韓 国	名大(法)博3	半 田 - 南	榑 原 忠 次	田 口 教 授
	13	耿鳳英 コオ ホン イン	台 湾	愛県芸大(デザイン)修1	尾 張 旭	加 藤 守	片 岡 教 授
	14	金品済 キム チャン ゼ	韓 国	名大(土木)博1	名古屋-北	中 川 正 美	岩 田 教 授
	15	柯 隆 クー ロン	中 国	名大(経)修1	名古屋-大須	浅 野 彰	千 田 教 授
	16	陳丹妮 チン ダン ニ	中 国	名市大(薬)博2	名古屋-南	山 路 兼 生	四ッ柳教授
	17	陳連怡 チェン リャン イ	中 国	名工大(生産システム)博2	豊 田 - 東	奥 村 芳 宏	藤 本 教 授
	18	孫宏業 スン ホン イエ	中 国	名大(結晶)博3	名古屋-千種	和 田 正 敏	石 橋 教 授
	19	アパシブレ・ロドリゲス	フィリピン	豊技大(生産システム)学4	豊 橋	大 島 照 夫	新 家 教 授
継 続 奨 学 生	20	鍾慈馨 ツオン ツー シン	台 湾	名大(文)博3	一 宮	酒 井 孝	平 井 教 授
	21	河宗根 ハ ジョン グン	韓 国	名大(法)博2	岡 崎 - 東	榑 原 俊 行	磯 部 教 授
	22	インチュクル・タンティップ	タ イ	名大(経)修2	名古屋-南	山 路 兼 生	牧 戸 教 授
	23	全 点 ジョン フン	韓 国	名大(生化学)博3	名古屋-西	水 野 康	北 川 教 授
	24	金度参 キム ド サム	韓 国	名大(土木)博3	春 日 井	伊 藤 正 之	岩 田 教 授
	25	金柄坤 キム ビョン ゴン	韓 国	名大(航空)博3	名古屋-瑞穂	三 島 清	曾 我 教 授
	26	李原赫 イ ウォン ヒョック	韓 国	名工大(物質工学)博3	名 古 屋	梅 島 一 嘉	阿 部 教 授
	27	呉鳳煥 オー ボン ホァン	韓 国	名大(電気)博3	名古屋-栄	石 田 征 三	鬼 頭 教 授
	28	バンディ・クリスナ・バハドル	ネ パ ール	名城大(商学)学4	名古屋-港	山 下 哲 男	山 崎 教 授
	29	ビョンチャンロエン・ソンサック	タ イ	豊技大(電気)修2	豊橋ゴールドデン	牧 野 政 雄	榑 本 教 授
CY	30	王振嫻 ワン ジェン ジョン	台 湾	名大(法)博4	稲 沢	山 田 元	室 井 教 授

当地区にて本年度受入れ中の奨学生たちの年末見学会と懇親会を下記の如く多数の参加者を得て開催されました。

特に懇親会では、奥谷理事について神戸ガバナーより激励の言葉をいただいたり、カウンセラー・役員の持参したおみやげをクジ引きにて配布したり、カラオケ等で楽しみました。最後に豊橋クラブよりいただいたテレフォンカードを配布し解散しました。

R財団国際親善奨学生報告

1992～93年度奨学生 室 慶直 (スポンサークラブ 名古屋・東南 RC)

1992年9月1日、無事サンディエゴ空港に到着し、当地での生活準備を10日間で整えました。当研究室の日本人研究者の助力もあり、住居、車等の決定は迅速に行うことができました。スクリプス研究所は1961年設立のカリフォルニア州で最古で最大の私的研究機関であり、その研究レベルは世界でも非常に高いことで有名です。主な研究分野は免疫学、細胞生物学、分子生物学等で、私の所属する自己免疫病センターの最高責任者である Dr. Tan は常に世界の第一人者としてこの分野をリードしてきたといえます。当研究室は国際色豊かでマレーシア人の Dr. Tan をはじめ、オーストラリア、スウェーデン、ドイツ、プエルトリコ、ブラジル、中国等からのスタッフ、実験技師等含め総勢20人を越える所帯となっています。

私の研究テーマは研究室の事情から、当初予定されていた“骨髄移植病モデルマウスにおける自己抗体”から“抗 PCNA 抗体のエピトープ解析”に変更されました。これは当研究室の長年の主要テーマに位置するもので

す。抗 PCNA 抗体は1978年に当研究室において宮地清光博士によりはじめて報告された全身性テリマトーデス患者に見いだされた自己抗体で、その後もこの抗体に関するプロジェクトには数人の日本人が関わっています。実験は目下のところ大部分が既に身に付けている手法で進められていますが、同じ実験手法、技術でも当然のことながらそれぞれの研究室の流儀があり、まずそれに慣れるのにひと苦労です。実際に良い実験データを得るための、さらなる今後の努力が必要とされているといえます。やはり言葉（英語）が最大の難問で、これは当研究室にネイティブアメリカンが少ないことも一層これを困難にしている要因となっていると思われます。この点における今後の努力も大きな課題です。

忙しい研究生生活の中で訪れた当地の観光地をいくつか紹介します。サンディエゴはカリフォルニア州第2の都市で、その気候は雨が少なく温暖で、海と複雑な海岸線が織りなす美しい景観で有名なカルフォルニア発祥の地です。

〈シーワールド〉

シャチやイルカの曲芸と海洋生物の飼育で知られるシーワールドはダウンタウンから見て北西、ミッションベイパークの入口にあります。広い園内には7つのステージと10以上の展示パビリオンがあり、中でも数種類のイルカと小型の鯨が繰り広げる“ドルフィンスタジアム”やシャムと呼ばれるシャチの迫力満点の“シャムスタジアム”でのショーは見応えがありました。

〈パルボアパーク〉

ダウンタウンの北、約2 kmに広がる小高い丘の上に造られた約6平方kmの面積をもつ総

地区ニュース・その他

合公園バルボアパークには有名なサンディエゴ動物園のほか、サンディエゴ自然博物館、ルーベンフリート宇宙劇場、サイエンスセンター、写真美術館、平和友好館などがあり、サンディエゴのレクリエーションや文化活動の中心です。世界的にその名を知られたサンディエゴ動物園は約800種3,400頭もの動物が飼育されている世界的大規模の動物園です。園内随所に配置された亜熱帯植物のコレクションや絶滅の危機に瀕している希少動物の保護と繁殖にも力をいれているそうです。

〈ラホヤ地区〉

スクリプス研究所はサンディエゴの北に位置するラホヤという町にあります。車で数分行くと変化に富んだ美しい海岸線と、ブティックやギャラリーが建ち並ぶ通りが目を引きまします。荒波に削られ、下の部分が浸食された崖が複雑に入り組んだラホヤコーブはダイバーたちの基地として有名です。

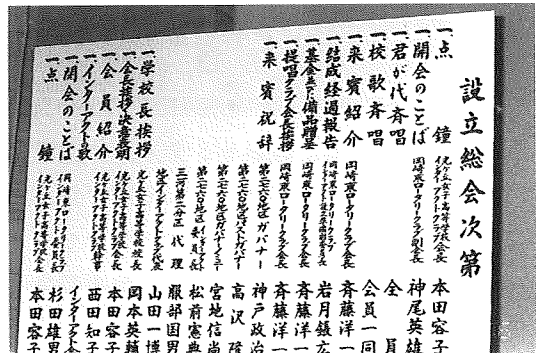
当地でのロータリーの会合には10月8日にシェラトングランドホテルで行われた奨学生のためのレセプションに、私の当地区でのホストロータリアンである Ms. Senyshyn と共に出席しました。当地区ロータリー幹部の方とはじめてお会いしとても友好的にもてなしをうけたことが深く印象に残っています。また、当地区より来年日本へ行く予定の奨学生とも話しをする機会をもつことができたのは興味深いものでした。Ms. Senyshyn は以前カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部でボランティア活動をされていた婦人であり、私が日本から持参したこけし人形と藍染めのハンカチーフを受けとって大変喜んでくれたのが印象的でした。しかし残念なことに、彼女はこれから新たに事業を始めることで多忙

を理由に、先日私の顧問ロータリアンを辞退されました。最近、新たな顧問ロータリアンが決定されたとの通知を受け、お会いするのを楽しみにしています。

光ヶ丘女子高等学校 I.A.C. 設立総会盛大に開催

日 時 1992年12月19日(土)

場 所 光ヶ丘女子高等学校



インターアクトは、1992年11月に30周年を迎えました。この記念すべき年に岡崎一東 RC 斉藤洋一会長の提唱により、2760地区に10番目の I.A.C. が岡崎市の光ヶ丘女子高等学校に誕生し、設立総会が新会員48名の出席のもとに盛大に開催されました。

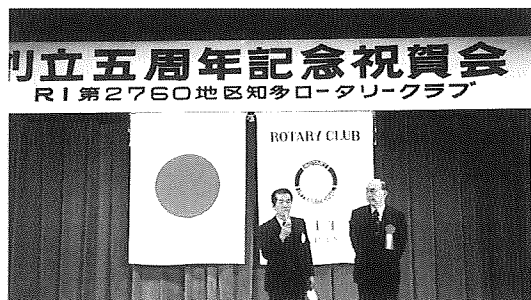
当日は、神戸政治ガバナー、高沢隆バスターガバナー、宮地信尚ガバナー・ノミニーをはじめ、I.A.C. 関係役員、岡崎一東 RC 役員、近隣 RC 役員等多数の参加をいただき、荻野設立委員長司会の司会で、結成経過報告、基金ならびに備品贈呈、提唱クラブ会長挨拶、来賓祝辞、学校長挨拶、本田容子 I.A.C. 会長決意表明、会員紹介等式典がつづき、その後校庭にて記念植樹と記念写真をとりました。

知多 RC 創立 5 周年記念

知多ロータリークラブ

会長 山口 禎二

知多 RC 創立 5 周年記念例会並びに祝宴を開催するにあたり、ご来賓の皆様方にはご多忙中にもかかわらず遠路はるばるご臨席を賜りましたことを会員一同共に心から厚くお礼申し上げます。



昭和62年12月14日、永井進特別代表をはじめ地区役員の方々、また常滑 RC のご尽力により23名の創立会員にてうぶ声をあげ、昭和63年3月6日、31名にて認証状の伝達を受けてから今日に至っております。

この間先輩クラブのご指導によりクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕に精一杯努めてまいりました。私たちは、ひとつの節目の5周年を迎えて喜びと感謝の気持の一端を記念事業に託すべく、次のように決定いたしました。

◎知多市在宅ケアセンターに軽自動車2台の贈呈

◎ロータリー財団へ金一封を贈呈

以上を行いました。今日の5周年があすの10周年への足掛かりとなることを全会員が肝に銘じて、一層の努力を誓いました。今後とも皆様のご指導ご支援をお願いいたします。

最後に各位のご健勝とご発展をお祈り申し上げてご挨拶といたします。本日は誠にありがとうございました。

学校週5日制について

渥美ロータリークラブ

会長 原 功一

渥美 RC は、去る11月11日(水)に青少年奉仕活動の一貫として、9月より始まった毎月第2土曜日を休日とする「学校週5日制」について講師の先生による基調講演と、パネルディスカッションを開催しました。



第1部 基調講演「学校週5日制を考える」

講師 足助町教育委員会主事宇井亮次先生

先生は平成元年12月に文部省より調査研究モデル校の指定を受け、一足先に実施してこられた背景のお話をされました。

- 子どもの実態……自主的行動ができない
生活体験の不足
基本的生活習慣の欠如
- 子どもを育てる環境……家庭内での社会性の欠如
過保護による自立心の欠如
親の共働による寂しさと非行

地区ニュース・その他

など地域、家庭のあるべき姿は、家庭は子育ての基本の場として、子供の生き方、生活の知恵を伝え、また地域社会は、子供達の活動の場、健全育成の環境づくり、ボランティアの確保が重要であるとお話されました。

第2部 パネルディスカッション

パネリスト 学校側より 小久保 寿
地域より 野尻 鈴彦
家庭より 鈴木 博己

コーディネーター渥美 RC 会員 鈴木 雅晴
小久保先生は、週5日制の導入は、授業時間を減らすことでなく、工夫を必要とし、さらに子ども達の受け皿は物ではなく、家庭または地域社会の心である。地域社会の価値感を変えなければやっていけない。

野尻先生は、地域社会での受け皿となるべきボランティアや指導者の多くは、まだ週休2日制ではなく、現在はまだ地域の体制が出来あがっていない。

鈴木さんは、地域社会では勉強のやりすぎでゆとりがなく、学校は、ただの訓練機関になってはいないか。学習指導要綱を見直すことが先決である、など、お互いの立場での手きびしい意見などがでて、とても有意義な時間を過ごすことができました。

3月・4月の行事案内

〈東尾張分区 I.M.〉

日 時 1993年3月7日(日)13:00~19:30
場 所 ホテルナゴヤキャッスル
ホスト 豊山-城北 RC

〈地区雑誌委員長会議〉

日 時 1993年3月8日(月)14:30~17:00
場 所 名鉄グランドホテル

ホスト 地区ロータリーの友委員会

〈一宮-北 RC 創立30周年記念行事〉

日 時 1993年3月13日(土)
場 所 一宮商工会議所

〈第1回青少年指導者養成セミナー (* RYLA)〉

日 時 1993年3月14日(日)9:00~15:00
場 所 岡崎信用金庫本店
ホスト 岡崎-東 RC

〈尾張第1分区 I.M.〉

日 時 1993年3月27日(土)
場 所 大府市勤労文化会館
ホスト 東知多 RC

〈国際協議会〉

日 時 1993年3月31日(水)~4月8日(木)
場 所 米国カリフォルニア州アナハイム
(宮地 D.G.N. ご夫妻ご出席)

〈岡崎-東 RC 創立20周年記念行事〉

光ヶ丘女子高等学校インターアクトクラブ
認証状伝達式
日 時 1993年4月22日(木)

場 所 名鉄岡崎ホテル

〈地区ローターアクトクラブ年次大会〉

日 時 1993年4月24日(土)~25日(日)
場 所 田原町文化会館
ホスト 田原ローターアクトクラブ
テーマ “9 HEART 何か感じて”

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

12月24日 墨 未芳 一 宮 RC
1月2日 大竹四年紀 岡崎-東 RC
1月27日 林 典之 春日 井 RC
※ R.I. 事務総長より、故中村繁男 P.D.G. に対してのお悔みの書信がまいりました。

※ライラ (RYLA) とは

Rotary Youth Leadership Awards (ロータリー青少年指導者養成プログラム) の頭文字です。

このプログラムは14歳～30歳 (以前は18～24歳でした) までの若い人々のためのプログラムであり、国際ロータリーが1971年に公式に採用したものです。地区レベルで実施されるセミナーや指導者キャンプなどにより、ロータリアンは、地元地域社会の若い人々の指導者および善良な市民としての資質を伸ばすことに力を尽す機会に恵まれます。

また、このプログラムは次のように構成されています。

1. 選考された青少年指導者が全クラブ会員に紹介される地元ロータリー・クラブの会合をもちます。
2. 指導力養成を含む教育的、社交的プログラムへの出席をします。(全経費はクラブが負担)
3. 参加者がプログラムを最後まで完了したことを認め、RYLA 修了証書を贈呈する地元ロータリー・クラブでの特別な機会をもちます。

文 庫 通 信 (64号)

☆ 半年間に登録された資料の中から ☆

- 「ロータリー情報」
成田 RC 1987年 229頁 [申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- 「ロータリー運動とは…」
小堀憲助 1991年 95頁 [申込先：神奈川千種会 FAX044-711-8861]
- 「新会員の声—新会員へのアンケートの回答から—」
D-2750 1991年 66頁 [申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- 「はぐれの鴉のちょっと気になるロータリー」
石川巖 1992年 252頁 [申込先：石川巖 TEL0157-47-2288 FAX0157-47-2900]
- 「女性ロータリアン懇談会」
福島中央 RC 1992年 17頁 [申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- 「My friend 改訂版」
D-2770 1992年 166頁 [申込先：西幸治 (会社) TEL03-3256-0039]
- 「^{こせ}暫女の行水」
土方文生 1992年 105頁 [申込先：秋田北 RC TEL0188-33-4147]
- 「ロータリーへの独り言」
田中弘 1992年 100頁 [申込先：帯広 RC TEL0155-25-7347]
- 「わがロータリーへの道 (抄録増補版)」
ポール・ハリス著：竹山涼一他訳 1992年 126頁
[申込先：札幌南 RC TEL011-231-1297]
- 「ロータリー哲学」
アーサー・F. シェルドン著：小堀憲助訳 1992年 95頁
[申込先：神奈川千種会 FAX044-711-8861]

ロータリー文庫 〒105 東京都港区芝公園2-6-3 a b c 会館 7階

T E L 03-3433-6456 ・ F A X 03-3459-7506

開館／午前10時～午後5時 休館／土・日・祝祭日

出席報告

1992年12月分

分 区	クラブ名	出 席 率	例 会 数	会 員 数			分 区	クラブ名	出 席 率	例 会 数	会 員 数			
				'92年 7月1日	当 月	増 減					'92年 7月1日	当 月	増 減	
尾張第一分区	知 多	100.00	3	43	50	+ 7	西尾張分区	あ ま	100.00	4	92	90	- 2	
	半 田	93.47	4	74	75	+ 1		尾 西	96.37	4	60	62	+ 2	
	半 田 南	98.33	5	60	62	+ 2		一 宮	98.34	4	96	94	- 2	
	東 知 多	96.00	4	56	55	- 1		一宮中央	98.94	2	63	63	0	
	常 滑	98.43	4	64	65	+ 1		一 宮 北	99.71	4	88	86	- 2	
	東 海	95.90	3	64	65	+ 1		稲 沢	100.00	3	63	64	+ 1	
	計	97.02		361	372	+11		西春日井	96.09	4	70	69	- 1	
名古屋第一分区	名 古 屋	96.58	4	228	244	+16	三河第一分区	尾張中央	100.00	4	49	49	0	
	名古屋名駅	98.35	3	76	81	+ 5		津 島	99.25	4	95	95	0	
	名古屋名南	100.00	5	69	74	+ 5		計	98.74		676	672	- 4	
	名古屋南	98.71	4	123	127	+ 4		渥 美	91.37	3	66	66	0	
	名古屋港	100.00	4	121	127	+ 6		蒲 郡	95.72	4	78	79	+ 1	
	名古屋瑞穂	100.00	4	95	98	+ 3		奥 三 河	92.93	4	44	44	0	
	名古屋中	99.66	4	154	155	+ 1		新 城	96.04	4	63	63	0	
	名古屋西	98.69	4	146	155	+ 9		田 原	95.15	4	71	72	+ 1	
	名古屋大須	99.47	4	97	96	- 1		田原 パシフィック	99.56	4	57	58	+ 1	
	名古屋栄	98.59	3	65	71	+ 6		豊 橋	98.12	4	128	128	0	
	名古屋東南	100.00	4	91	92	+ 1		豊橋ゴールデン	100.00	4	75	75	0	
	計	99.10		1,265	1,320	+55		豊 橋 北	99.06	5	116	115	- 1	
名古屋第二分区	名古屋千種	99.26	4	68	70	+ 2	三河第二分区	豊 橋 南	99.58	3	84	86	+ 2	
	名古屋東	98.47	4	111	116	+ 5		豊 川	95.72	3	81	82	+ 1	
	名古屋北	99.76	4	107	110	+ 3		豊川宝飯	90.31	5	66	65	- 1	
	名古屋名北	100.00	4	69	69	0		計	96.13		929	933	+ 4	
	名古屋名東	100.00	5	73	71	- 2		安 城	98.41	3	83	84	+ 1	
	名古屋守山	97.03	4	96	94	- 2		碧 南	100.00	3	83	83	0	
	名古屋昭和	98.64	4	64	74	+10		一 色	97.68	4	52	54	+ 2	
	名古屋和合	100.00	4	109	105	- 4		刈 谷	100.00	4	87	93	+ 6	
	計	99.15		697	709	+12		知 立	100.00	4	52	52	0	
東尾張分区	犬 山	100.00	4	82	84	+ 2	三河第二分区	西 尾	98.63	4	76	77	+ 1	
	岩 倉	96.09	4	42	45	+ 3		西尾 KIRARA	98.53	4	51	51	0	
	春 日 井	100.00	4	86	89	+ 3		岡 崎	100.00	4	110	115	+ 5	
	小 牧	97.44	4	75	78	+ 3		岡 崎 東	100.00	4	79	81	+ 2	
	江 南	98.14	4	69	71	+ 2		岡崎城南	100.00	4	76	75	- 1	
	名古屋空港	100.00	3	72	73	+ 1		岡 崎 南	100.00	4	99	104	+ 5	
	尾 張 旭	100.00	4	66	69	+ 3		高 浜	100.00	4	49	48	- 1	
	瀬 戸	99.16	3	80	80	0		豊 田	97.62	4	90	97	+ 7	
	瀬 戸 北	100.00	4	63	64	+ 1		豊 田 東	99.64	3	90	93	+ 3	
	豊山城北	100.00	4	68	67	- 1		豊 田 西	99.67	3	95	100	+ 5	
	計	99.08		703	720	+17		豊田三好	100.00	3	28	28	0	
								計	99.39		1,200	1,235	+35	
	地区内クラブ数			72RC	'92.7.1 会員数	5,831名		増 加 会 員 数	152名					
					当月末 会員数	5,961名		減 少 会 員 数	22名					
				当月平均出席率	98.37%	差引純増会員数	130名							